

皆様からの応援に感謝の思いをこめて、今度は札幌から

札幌・北海道応援コンサート

親子で聴くチャイコフスキー

@札幌市民ホール

2021年3月19日(金) 13:30開演(12:30開場)

カナモトホール(札幌市民ホール/札幌市中央区北1西1)

<指揮とおはなし> 松本 ^{シュールヒト} 宗利音(札幌交響楽団指揮者)

<管弦楽> 札幌交響楽団

チャイコフスキー

● バレエ「眠りの森の美女」より
序奏とリラの精、ワルツ

● バレエ「白鳥の湖」より
情景、ワルツ、4羽の白鳥の踊り、
ナポリの踊り

● バレエ「くるみ割り人形」より
行進曲、金平糖の踊り、アラビアの踊り、中国の踊り、
あし笛の踊り、花のワルツ

休憩なし、約60分間のコンサートです。

全席指定
税込

おとな 1,000円 こども(新・小学1年生~高校生) 500円

チケット発売日 2021年2月25日(木) 10:00 ~

<チケット取扱い>

●道新プレイガイド(道新本社ビル1階) tel. 0570-00-3871 doshin-playguide.jp

●市民交流プラザ チケットセンター(札幌市民交流プラザ2階)

・ご購入時にお名前、ご連絡先をご登録ください。感染症拡大防止を目的に保健所など公的機関に提出する場合がございます。

・ご購入方法によっては手数料等が加算されます。

・座席は左右を空席とした配席で、会場定員の50%以下となる席数を販売します。

・未就学児の入場はご遠慮ください、ただし、2021年4月に小学校入学の新1年生は入場可です。

感染症拡大防止のためご協力をお願いいたします

マスクの常時着用、入場時の検温、手指の消毒にご協力ください/37.5度以上の発熱がある方はご入場いただけません/会場での飲談、ご声援、ロビーでの飲食をお控えください/入場時は、チケットの半券をご自身で切って回収箱に入れていただきます/カフェコーナー、水飲み場、クローク等のサービスは停止しています/混雑緩和のため、入場はお早目をお願いいたします。また終演時は分散退場のご案内をいたします/出演者への声援、プレゼントや差入、入待ち出待ち等は控えください。

主 催:札幌市 札幌交響楽団

お問い合わせ:札幌交響楽団 Tel.011-520-1771(平日9:30~18:00ただし、第2・4月曜原則休み)

公式ホームページ www.sso.or.jp

※やむを得ない事情により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

音で描くロマンティックなおとぎ話、

チャイコフスキーの3大バレエ音楽をいところどり



指揮 松本 宗利音 (札幌交響楽団指揮者)

Shurihito MATSUMOTO, conductor

1993年大阪府豊中市生まれ。幼少より音楽、特にヴァイオリンに親しみ、相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属。京都堀川音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業最優秀賞であるアカンサス賞を受賞して卒業。

指揮を札幌名誉音楽監督の尾高忠明と藏野雅彦、高関健、田中良和の各氏に、ヴァイオリンを澤和樹、曽我部千恵子両氏に師事。藝大在学中にはダグラス・ポストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。

2017年4月より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員を務めて指揮者としての才能を花開かせ、2019年4月に札幌交響楽団指揮者に就任。道内各地の演奏会のほか、今年1月にはバーメルトに代わり新・定期演奏会を指揮し好評を博すなど、活躍を拓けている。これまでに東京シティ・フィル、札幌はもちろん、仙台フィル、山形響、群馬響、新日本フィル、名古屋フィル、大阪響、大阪フィル、京都市響に客演。今後も東京響、読売日本響との共演が予定されるなど、これからの音楽界を担う期待の指揮者の一人と注目されている。

管弦楽 札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra



1961年に発足し、「札幌」の愛称で親しまれてきた北海道唯一のオーケストラ。2021年に60周年を迎える。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力が雄大な北海道にふさわしいと広く知られている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどが務めた。現在、首席指揮者 マティアス・バーメルト、名誉音楽監督 尾高忠明、友情客演指揮者 広上淳一、指揮者 松本宗利音を擁する。

例年、約120回のオーケストラ・コンサートを道内外で行うほか、積極的に道内各地の地域活動に参加、小編成での教育福祉活動は年50回に及ぶ。海外公演もこれまでに、アメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問し各地で好評を博している。レコーディングにも積極的で、尾高とのシベリウス、ベートーヴェン、エリシュカとのドヴォルジャーク、ブラームス、チャイコフスキー、ボンマーとのパッハ、メンデルスゾーン、ブルックナー、シューマン、R.シュトラウスがリリースされており、それぞれ専門誌、新聞で推薦盤に選ばれるなどの高い評価を得ている。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌交響楽団は5か月以上にわたり活動を休止せざるをえませんでした。この間、多くのご支援ご声援をいただき、心より御礼申し上げます。

活動休止を機に、札幌はアンサンブル演奏や吹奏楽ワンポイントアドバイス等映像配信を開始いたしました。公式ホームページからご覧いただけます。<https://www.sso.or.jp>

